



健康社会学研究会

# ニューズレター No.71

発行：健康社会学研究会

事務局：〒164-8530 東京都中野区中野 4-21-2 帝京平成大学 現代ライフ学部 人間文化学科（担当 森川洋）

TEL 03-5860-4586 FAX 03-5860-4945 E-mail: h.morikawa@thu.ac.jp

ニューズレター NO.71 / 2014年5月 編集担当：松岡正純

## 平成 26 年度総会の開催～出席と委任状提出のお願い～

平成 26 年度総会を 6 月 28 日（土）の第 50 回健康社会学セミナー終了後に開催します。同封の総会議案書を持参の上、ご出席ください。

なお、**ご欠席の方は、お手数をおかけしますが 6 月 26 日（木）までに同封用紙にて委任状を事務局まで郵送**いただくようお願いいたします。

健康社会学研究会 代表 松岡正純

## 第 50 回健康社会学セミナーのご案内

日時：平成 26 年 6 月 28 日（土）14：30～17：00

会場：東洋大学ライフデザイン学部 講義棟 306 教室

埼玉県朝霞市岡 48-1 （東武東上線朝霞台駅：武蔵野線北朝霞駅より徒歩 10 分）

### タイトル「健康に関する住民活動は地区組織から新たなる住民組織へ」

#### 概要

町内会や自治会機能の低下に始まり、コミュニティーの崩壊が懸念される中、健康に関する地区組織も高齢化や形骸化が指摘され、その見直しが緊急の課題である。健康関連の住民活動は従来の地区選出型から、同じ考えや方向性を持った趣味思考型の住民活動へと転換する時期に来ている。

このような流れの中で今回の健康社会学セミナーでは、学習集団から組織化を目指す趣味指向型の新たな住民組織のあり方を模索している 3 つの行政を取り上げる。

しかし、どの地域も発展途上であり、試行錯誤の中この事業を展開させている。そこでこの 3 つの事例発表をクロスシンキングしていく中で、それぞれの事業のブラッシュアップを図るとともに、健康に関する新たな住民組織の形をイメージすることをこのセミナーの目的としたい。

#### 1. シンポジウム

「品川区 健康大学しながわについて」奥村 穂並（東京都品川区保健師）

「市原市 歯科保健推進員活動について」高澤みどり（市原市保健センター歯科衛生士）

「白井市 白井市民大学校について」松岡 正純（白井市教育部生涯学習課）

#### 2. 問題提起とフロアディスカッション

モデレーター 齊藤 恭平（東洋大学ライフデザイン学部教授）

\* 終了後朝霞台駅周辺で懇親会を予定

## 特別企画セミナー 報告

日時：2014年2月22日（土）14時～17時

場所：日本子ども家庭総合研究所3階会議室

テーマ：ヘルスポランティアの古今東西

ー地域特性に配慮した Learning Partner Modelー

講師：Dr. Ana Navarro 博士（カリフォルニア大学サンディエゴ校家庭予防医学講座准教授）

Olga Sanchez 氏（Por la Vida 代表）

モデレーター：助友裕子（日本女子体育大学体育学部スポーツ健康学科准教授）

本セミナーは、厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業「学童を対象としたがん教育指導法の開発およびその評価」研究班ならびに日本学術振興会科学研究費補助金（若手研究B）「がん対策情報普及のための Learning Partner Model の評価」研究班（いずれも研究代表者 助友裕子）との共催事業として行われ、講師含む総勢25名の参加者がありました。今回の特別企画は、同研究班が公益財団法人がん研究振興財団によるがん臨床研究推進事業（外国人研究者招へい事業）の一環として招へいた Dr. Ana Navarro をお招きすることで実現されたものでした。



Dr. Navarro は長年にわたりカリフォルニア州サンディエゴ市および周辺地域の地域住民を対象とした健康教育プログラムのコーディネートをされており、近年では、米国立がん研究所等の助成によるカリフォルニア大学サンディエゴ校とサンディエゴ州立大学のパートナーシップ協定における包括的がんセンターの中心的な研究者として、素人の能力開発に関する研究を進めていらっしゃいます。このうち代表的な成果は、ラテン系女性を対象とした女性特有がん予防教育プログラム（Por la Vida ; PLV）であり、講座受講生である主婦が家族や地域住民へ学習内容を普及させる Learning Partner Model（以下、LPM）を多数輩出していらっしゃいます。これらの活動は、米国では Community Health Advisor（CHA）と呼ばれており、我が国の公衆衛生諸施策において古くから活躍し



てきたヘルスポランティアの取組を想起させるものです。この度のセミナーでは、Dr. Navarro のパートナーでありサンディエゴ周辺地域における CHA の代表者でもある Olga Sanchez 氏も招き、実践家としての体験談もお話いただきました。

まず、Dr. Navarro より「'Community Health Advisors' activities in West Coast through the Por la Vida program: Their potential and empowerment (アメリカ西海岸の住民組織保健活動ーCommunity Health Advisor の力量形成と可能性ー)」と題し、理論に基づくプログラム開始背景の紹介とともに、米国連邦政府による健康施策 'Healthy People 2020' における格差対策をふまえたプログラム対象者の選定など、公衆衛生施策とプログラムの関係性についての説明がありました。我が国でも第二次健康日本 21 において格差対策の視点が導入されていることから、特に対象者の選定部分が今後参考になると思われました。

次に、Sanchez 氏より、CHA になった経緯とこれまでの活動の振り返りとともに今後の抱負を語っていただきました。Sanchez 氏は、20 年ほど前に Dr. Navarro から大学側の主催する CHA 養成講座を受講した後に、自らも研鑽を積み、Dr. Navarro の指導のもと仲間とともに地域で自ら講師となり健康講座を主催してきました。講座の受講生となる地域住民には、講座申込み時に Learning Partner (講座で学んだことを共有する相手) も同時に登録することが求められ、全 12 回の最初と最後には知識や態度の変化を測定するためのアンケート調査にも協力することが義務付けられています。CHA は、この調査が円滑に実施されるための研究協力者でもあります。このことでしっかりと情報伝達が行き届いているか否かを評価することができるため、それゆえ講座の質を担保することが可能となります。

最後に Dr. Navarro からは、この度のセミナーにご参集いただいた皆さんもまた新たなパートナーだのご指摘いただきました。私たちは、価値ある情報を手に入れたとき、誰かに伝えたいと考えるものです。特に、健康に関する情報については、身近な人に伝え、その相手とできるだけ長く人生を共にしたいと願います。Learning Partner Model が示しているのは、そのようなソーシャルネットワークを生かした健康情報の伝達であり、我が国の多くの市民向け講座に参考になるものと思います。同時に、このモデルの実践には、市民ボランティアである CHA が重要な役割を担っているという点からも学びがあります。我が国の行政事業協力型保健ボランティア活動の有用性を示すために、Dr. Navarro らが実施している評価方法が参考になるものと思います。

今回の主催であった研究班では、Learning Partner Model の日本での実践を見据えて、平成 25 年度中に東京都品川区 (健康大学しながわ) ならびに千葉県白井市 (白井市民大 学校) において、調査を実施させていただきました。今年度中にその成果を健康社会学研究会においてもご報告させていただく予定です。この度の特別企画セミナーを機に、継続的にディスカッションをさせていただきたいと考えております。

(文責 助友裕子 健康社会学研究会運営委員)

## 出版企画の報告

出版企画の「健康社会をつくる5つの活動」(仮)は原稿が集まり、現在、編集作業中です。原稿をお寄せいただいた会員の方々、どうもありがとうございました。今後、若干修正していただく場合もあるかもしれませんが、その際には引き続きどうかよろしくお願いたします。

(出版企画委員長・杉田秀二郎)

## 新入会員の紹介

柿崎美穂 (北海道天塩町役場福祉課)

遠藤延人 (飯能市健康推進部)

## 第50回健康社会学セミナーの情報発信のお願い

6月28日(土)に開催する第50回健康社会学セミナーについて、会員皆様から多くの関係者の方々に、積極的なセミナー情報の発信をお願いいたします。

たくさんの皆様をお迎えし、盛会にセミナーが開催できるようご協力をお願いいたします。

(代表・松岡正純)

## 事務局からのお知らせ

### 1. 平成26年度会費納入のお願い

毎年会費の納入についてご協力頂きありがとうございます。今年度も同封の払込票、もしくは銀行振込にて平成26年度会費の納入をお願いいたします。(既にお振込みいただいている場合、払込票は同封しておりません)

<会費納入先>

郵便振替：00100-8-41025

銀行口座：

みずほ銀行広尾支店 普通 1842122 健康社会学研究会 代表 松岡正純

ゆうちょ銀行(金融機関コード：9900)

当座 〇一九店(ゼロイチキュウ店：店番019)

0041025 ケンコウシャカイガクケンキュウカイ